

タイトル「2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)」、フォルダ「スポーツ科学部」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4608		
科目名	卒業研究		
担当教員	澤野 大地		
対象学年	4年	開講学期	通年
曜日・時限	火 5		
講義室	1206	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	4
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自分が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。</p> <p>DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP5-J [創造的挑戦力・達成力] コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。</p> <p>■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 F1探究と論拠-20% G1状況把握-15% H1論理的思考-30% I2量的分析-30% J2創造的思考-5%</p>		
教員の実務経験	<p>オリンピック3大会 (2004年、2008年、2016年)、世界陸上7大会 (2003年、2005年、2007年、2009年、2011年、2013年、2019年) に出場しました。その競技者としての経験を活かして、講義を行います。また日本オリンピック委員会理事、日本オリンピック委員会アスリート委員長として活動をしている中で、あらゆる競技の選手と関わってきた経験を活かして、講義を行います。(第1回)</p>		
成績ターゲット区分	<p>■能力開発の目標ステージと対応 3 発展期～4 定着期</p>		
科目概要・キーワード	<p>ゼミナールⅠ・Ⅱでの学習を基にした各自の研究内容を定期的に発表し、研究の進捗状況を学生同士で共有し、討論方式でそれぞれの改善点を考察します。文献や資料を正確に調べ、指導教員や受講生と討論を重ねながら、学生自身の課題を深化させていきます。卒業研究での発表は調査レポート形式、プレゼンテーション、映像など多様な形式が想定されます。授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業(ライブ配信型)を取り入れます。</p> <p>■キーワード 研究・省察・反省的実践</p>		
授業の趣旨	<p>■副題 スポーツ科学に関する研究計画の立案および実践の発表</p> <p>■授業の目的 ゼミナールで学習した内容を中心に自身またはグループで研究課題を設定しこれまでの講義・演習で学んだ研究方法を用いて計画の立案から実践まで行い、研究結果に関する他者との議論内容を踏まえ、発表を行うことができることを目的とします。</p> <p>■授業のポイント これまでコーチング学研究法演習やゼミナール等で学習した研究方法を用い、量的・質的データを用いた体力トレーニングに関する検証を行い、その成果をまとめ発表を行います。</p>		
総合到達目標	<p>■自身の競技パフォーマンスの向上を追求する研究のために、研究の進め方や方法について理解し、研究を通して何を学ぶかについて説明できる能力を修得する。</p> <p>■他者との議論を積極的に行い、自身またはグループの研究内容を吟味し、発表内容に反映できる能力を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究方法について説明できる。(第1回～第15回) ・研究を実践し、検証できる。(第7回～第26回) ・研究した結果を発表できる。(第13回、第14回、第27回～第30回) ・研究した結果を競技力向上のために活用することができる。(第14回、第15回) 		
成績評価方法	<p>■定例プレゼンテーション (20%) 適用ルーブリック F1・G1・H1・I2・J2 (評価の観点) 自身またはグループの研究実践経過および結果を定例的 (月1回) に発表し、その内容について評価を行います。(フィードバックの方法) 各発表後に講評を行います。</p> <p>■総括プレゼンテーション (70%) 適用ルーブリックF1・G1・H1・I2・J2 (評価の観点) 作成したプレゼンテーション内容について評価を行います。</p>		

	(フィードバックの方法) 最終発表後、個別に面談を行います。 ■授業参加度 (10%) : 適用ルーブリックG1・H1 (評価の観点) 発表に向けての取り組みや、他者との連携、授業構築への参加などを総合的に評価を行います。			
履修条件	ゼミナールⅠ (SSCS4605) ・ゼミナールⅡ (SSCS4606) を履修していること。			
履修上の注意点	特にありません。			
授業内容	回	内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 卒業研究の進め方や評価について説明を行い、研究を進めていくための過程やその方法について理解し、卒業研究を通して何を学ぶかについて説明する。 担当教員の実務経験を踏まえて、競技パフォーマンスを向上させるために必要なことを解説します。 ③予習 (120分) ゼミナールでまとめた内容を再度確認する。シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習 (120分) ガイダンスによって説明された内容について再度シラバスを確認し、自身およびグループで取り組む内容とスケジュールについて確認しておく。	16	①授業テーマ 卒業研究最終発表にむけて ②授業概要 前期授業内容および中間発表会を振り返り、自身またはグループで最終研究発表へとまとめていく過程を整理する。 ③予習 (120分) 前期授業内容および中間発表を振り返り、まとめていくのに必要な課題を整理しておく。 ④復習 (120分) 最終発表までの過程を今一度確認し、次週以降の活動が円滑に進むよう内容を整理する。
	2	①授業テーマ 研究計画検討① ②授業内容 選択したテーマに沿って研究方法を検討する。 ③予習 (120分) 研究計画書の準備をしておく。 ④復習 (120分) 研究計画に問題がないか確認し、必要なら加筆修正を行う。	17	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論① ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	3	①授業テーマ 研究計画検討② ②授業内容 選択したテーマに沿って研究方法を検討する。 ③予習 (120分) 研究計画書の準備をしておく。 ④復習 (120分) 研究計画に問題がないか確認し、必要なら加筆修正を行う。	18	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論② ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	4	①授業テーマ 研究計画書作成① ②授業概要 研究計画書の作成作業と研究課題に対する先行研究等の整理を実施する。 ③予習 (120分) 研究計画書の作成準備のための資料整理と発表準備を行う。 ④復習 (120分) 授業後、指摘された点を踏まえ再考を重ねる。それぞれ研究計画書の進捗状況に応じてその完成度を見直し、適宜作成作業を進める。	19	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論③ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	5	①授業テーマ 研究計画書作成② ②授業概要 研究計画書の作成作業と研究課題に対する先行研究等の整理を実施する。 ③予習 (120分) 研究計画書の作成準備のための資料整理と発表準備を行う。 ④復習 (120分) 授業後、指摘された点を踏まえ再考を重ねる。それぞれ研究計画書の進捗状況に応じてその完成度を見直し、適宜作成作業を進める。	20	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論④ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	6	①授業テーマ 研究計画書作成③ ②授業概要 研究計画書の作成作業と研究課題に対する先行研究等の整理を実施する。 ③予習 (120分) 研究計画書の作成準備のための資料整理と発表準備を行う。 ④復習 (120分) 授業後、指摘された点を踏まえ再考を重ねる。それぞれ研究計画書の進捗状況に応じてその完成度を見直し、適宜作成作業を進める。	21	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論⑤ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	7	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論① ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。	22	①授業テーマ 中間発表① ②授業概要 卒業研究発表会に向けた研究内容の進捗状況を、プレゼンテーションにて説明できるようにする。 ③予習 (120分) 発表資料の作成をする。 ④復習 (120分) 教員および他の受講者からの講評内容、質問に対するの回答など、発表資料を修正する。
	8	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論② ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。	23	①授業テーマ 中間発表② ②授業概要 卒業研究発表会に向けた研究内容の進捗状況を、プレゼンテーションにて説明できるようにする。 ③予習 (120分) 発表資料の作成をする。 ④復習 (120分) 教員および他の受講者からの講評内容、質問に対するの回答など、発表資料を修正する。
	9	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論③ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。	24	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論⑥ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習 (120分) 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
	10	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論④ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。	25	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論⑦ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習 (120分) 先行研究の精読、資料の収集を行う。

	④復習（120分） 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。		④復習（120分） 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
11	①授業テーマ 中間発表資料作成① ②授業概要 これまで進めてきた研究内容を、中間発表のためにプレゼンテーション資料を作成し、説明できるようにする。 ③予習（120分） プレゼンテーション資料を作成する。 ④復習（120分） 検討が必要な項目について修正する。	26	①授業テーマ 研究進捗状況の報告と議論⑧ ②授業内容 研究内容を発表し、議論を行う。 ③予習（120分） 先行研究の精読、資料の収集を行う。 ④復習（120分） 議論した内容を基に、必要な関係論文・専門図書の精読および資料の収集、データの整理を行う。
12	①授業テーマ 中間発表資料作成② ②授業概要 これまで進めてきた研究内容を、中間発表のためにプレゼンテーション資料を作成し、説明できるようにする。 ③予習（120分） プレゼンテーション資料を作成する。 ④復習（120分） 検討が必要な項目について修正する。	27	①授業テーマ 卒業研究発表会準備① ②授業概要 卒業研究発表会に向け、スライドもしくはポスターを作成し、研究内容の説明ができるようにする。 ③予習（120分） 資料・データを整理し、わかりやすいプレゼンテーションができるように表示方法、説明文言を考察する。 ④復習（120分） 指摘された点を修正する。
13	①授業テーマ 中間発表会① ②授業概要 自身またはグループで取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（120分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	28	①授業テーマ 卒業研究発表会準備② ②授業概要 卒業研究発表会に向け、スライドもしくはポスターを作成し、研究内容の説明ができるようにする。 ③予習（120分） 資料・データを整理し、わかりやすいプレゼンテーションができるように表示方法、説明文言を考察する。 ④復習（120分） 指摘された点を修正する。
14	①授業テーマ 中間発表会② ②授業概要 自身またはグループで取り組む研究の経過について発表を行う。 ③予習（120分） これまでの発表形式での授業を参考により伝わるプレゼンテーションを目指し、繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） プレゼンテーションを振り返り、必要な修正や、課題の抽出を行っておく。	29	①授業テーマ 最終発表会① ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う。 ③予習（120分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
15	①授業テーマ 中間発表会の振り返り ②授業概要 中間発表会を振り返り、自身またはグループ間で研究をまとめていくための討議を行う。 ③予習（120分） 自身またはグループでの発表内容および受け付けた質疑について確認しておく。 ④復習（120分） 討議結果を振り返り、今後の課題や、方向性の修正などを行う。	30	①授業テーマ 最終発表会②およびまとめ ②授業概要 自身またはグループで取り組んだ研究について発表を行う。その後発表内容について講評を受ける。 ③予習（120分） これまでの準備によって作成された発表内容が正しく聴衆に伝わるよう繰り返し練習を行っておく。 ④復習（120分） 発表を振り返り今後のプレゼンテーション能力向上のため課題を抽出しておく。
関連科目	コーチング学研究法演習（SCSC2317）、ゼミナールⅠ（SCSC4605）、ゼミナールⅡ（SCSC4606）		
教科書	特に指定しません。		
参考書・参考URL	適宜指示します。		
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 月曜3限 それ以外の時間については、メールにて事前にアポイントをとれば研究室で対応します。 		
研究比率			

